

会派等研究研修報告書

令和6年3月27日

常滑市議会議長 様

会 派 名 常翔会
会派の代表者 加藤 久豊

会派等の研究研修について下記のとおり報告します。

記

1 期 日 令和6年2月14日（水）～15日（木）

2 研 修 名

2月14日（水）

「富津市立図書館について」

千葉県富津市

「子ども第三の居場所事業について」

日本財団

2月15日（木）

「観光産業の高付加価値化について」

観光庁

「ビッグファン平和島の概要について」

ボートレース平和島

3 参 加 者

加藤久豊（代表）、盛田克己、伊藤史郎、相羽助宣、稲葉民治
坂本直之、齋田 資、森下雅仁

4 行 程 別紙1のとおり

5 視 察 費 別紙2のとおり

1 行程表

令和 6 年 2 月 14 日 (水)

6 時 23 分	常滑駅発	名鉄空港線
6 時 29 分	中部国際空港駅着	
7 時 20 分	中部国際空港発	ANA 86 便
8 時 25 分	羽田空港着	
9 時 15 分	羽田空港第 2 ターミナル発	高速バス 羽田空港線
9 時 50 分	木更津駅東口着	
10 時 4 分	木更津駅発	J R 内房線 (君津行)
10 時 10 分	君津駅着	
10 時 20 分	千葉県富津市視察	富津市立図書館について
11 時 50 分	富津市立図書館 (イオンモール富津内)	
12 時 00 分	昼食	
12 時 50 分	君津駅発	J R 内房線 (総武線経由 逗子行)
12 時 56 分	木更津駅着	
13 時 25 分	木更津駅西口発	高速バス 東京～木更津 (東雲車庫行)
14 時 34 分	バスターミナル東京八重洲着	
14 時 42 分	東京駅発	東京メトロ丸ノ内線
14 時 53 分	虎ノ門ヒルズ駅着	東京メトロ日比谷線
15 時 00 分	交易財団法人日本財団視察	子ども第三の居場所事業 について
16 時 30 分		
16 時 38 分	虎ノ門ヒルズ駅発	東京メトロ日比谷線
16 時 47 分	築地駅着	
17 時 00 分	ホテル着	銀座キャピタルホテル茜 〒104-0045 東京都中央 区築地 3-1-5 03-3543-8211
18 時 00 分	夕食	

令和6年2月15日(木)

9時00分	ホテル発	
9時5分	築地駅発	東京メトロ日比谷線
9時13分	霞が関駅着	
10時00分 11時00分	国土交通省観光庁 衆議院第二議員会館 B1F 第9会議室	観光産業の高付加価値化 事業の概要と今後の取り 組みについて
11時12分 11時41分	霞が関駅発 平和島駅着	東京メトロ日比谷線 浅草線特急 京急本線特急
12時00分 16時30分	ボートレース平和島	ビッグファン平和島の概 要について
16時38分 16時50分	平和島駅発 羽田空港第1・第2ターミナル駅着	京急本線(羽田空港第 1・第2ターミナル行)
18時10分 19時25分	羽田空港発 中部国際空港着	ANA85便
19時47分 19時50分	中部国際空港駅発 常滑駅着	名鉄空港線特急

2 視察報告

視察①	
視察地	千葉県富津市
視察日時	令和6年2月14日(水)
視察目的	民間施設に設置された富津市立図書館について
説明者	富津市教育部生涯学習課長、富津市立図書館館長、富津市議会議長
調査趣旨	<p>常滑市は令和3年度に市立図書館を閉館したことにより、全国で数少ない図書館を持たない自治体となった。</p> <p>市民からは図書館の設置を求める声が多く寄せられており、市では市民や関係団体等の意見収集を行い、方針を検討していく予定である。</p> <p>富津市は、令和5年度よりイオンモール富津内に市立図書館を開館しており、民間を含めた複合施設への図書館設置の先進事例を調査研究するために視察した。</p> <p>イオンモール富津内に市立図書館を設置するに至るきっかけは、令和3年5月にイオンモールの方から同施設の空きスペース活用について市に提案されたことである。</p> <p>富津市はこの提案を受けて同施設内への図書館設置の方針を決めた。</p> <p>その後、令和3年度中に図書館整備基本計画の策定、予算の審査を行い、令和4年度には図書館設置条例等の制定、改装工事の発注、指定管理者の選定など令和5年度からの開館に向けて準備を進めた。</p> <p>提案から約2年で開館することが出来た主な利用は、市や議会そして市民が同じ思いを持って事業を進めたからである。</p> <p>費用面では図書館を新設した場合約13億円に対し、約3.4億円と非常に低く抑えられた。また、利用者は当初予想を大きく上回っているとともに、イオンモール利用者も増加しており相乗効果が図られている。</p>
写真	



質疑

問: イオンモール内への設置の最終的な決め手は何か。

答: 新設した場合と比べての財政的優位性や商業施設という利便性が高い点である。

問: 民間施設に設置することへの反対意見はあったか。

答: 不特定多数が出入りするため防犯上の懸念や感染症等の集団感染、3階であるため非常時の避難経路などの意見があった。

問: 開館後に浮上した課題はあるか。

答: 現時点では特に無い。

問: 予想を上回る利用状況となっている要因は何か。

答: 買い物ついでに立ち寄れることや、休館日が月1回で 20 時まで開館していることなどである。

問: 指定管理者制度を導入した理由は何か。

答: 多様化する市民ニーズへの柔軟な対応や企画・アイデアを活かした特色ある事業の実施のほか、幅広い技術や知識を活用できると考えた。

所感

(森下)

民間と市の考え方が一致しており良い例であると思うが、民間施設に設置することで、今後の継続について不安を感じる部分もある。

(齋田)

イオンモール3階にある図書館で、買い物ついでに立ち寄れる気軽さを感じました。低い本棚が設置され、本の場所がわかりやすくされていました。学習室は狭く感じました。

(坂本)

富津市は、図書施設として、中央公民館・富津公民館・市民会館図書室及び移動図書館で運営していたが、各種アンケート調査の結果、図書館を望む

声が多く寄せられ、常に上位を占めてきた。イオンモール株式会社からイオンモール富津内への市立図書館設置について提案を受け、市にとって、初期導入費用が抑えられ、イオンモール富津にとっても公共施設を導入することで、地域・社会貢献に寄与する観点から互いに利点があり、市民にとっても気軽に立ち寄れる点で、費用対効果と利便性を兼ね備えた図書館。

図書館は空き店舗を活用、借上げ費用(10年契約で毎月10万円)は、行政側にとっては負担額が少額ではあるが、建屋は商業施設を利用していることから、将来的には疑問も感じる。

図書館施設については、館内は図書の本棚が低くしてあり、色々と利用者のための工夫がなされていた。図書館利用者で図書が目的であれば立派な図書館である。

(稲葉)

商業施設内に図書館を設置することは良い案である。

(相羽)

図書館建設に関して平成22年3月、市の財政状況等により実施には至らなかった。

令和3年5月、イオンモールからイオンモール富津店内への市立図書館設置について提案があった。

市にとっては初期導入費用が抑えられ、イオンモール富津にとっては集客増や、地域・社会貢献に寄与する観点からお互いに利点があり、市は費用対効果と利便性を兼ね備えた施設の実現が見込まれることから、この提案を受け入れ図書館の整備に至った。

令和3年度に整備基本計画作成、令和4年度設計・施行、令和5年4月開館した。

面積1,474.4平方メートル、約446坪。蔵書冊数65,000冊、契約期間10年間賃料月額10万円税別、開館時間10時～20時。


(伊藤)

常滑市の図書館は3館体制で運営されている。今回、本館機能を学ぶため千葉県富津市を訪れた。富津市では市内にあるイオンモール内に設置されていた。利用者の声を視察中に聞いたが、好評のようだった。参考になった。

(加藤)

常滑市の図書館が閉館しており、今後の図書館の在り方について学ぶためイオンモール富津内で図書館を運営している千葉県富津市を訪れた。当日は精力的に取り組んできた議長も参加していただき、当時の経緯などお聞きすることができた。新築で整備すれば多額の費用を要するが、イオンモール内での設置で安価に整備することができたと話された。イベント等は空きス

	<p>ペースも活用し市民にも好評だとのこと。とても参考になる視察であった。</p> <p>(盛田)</p> <p>富津市は市内に3か所の図書館があり、中央部の図書館がスーパーイオン内に設置、近接の木更津市に同じイオンがあり、客が減り空き店舗が多く発生、図書館の新設を考えていた富津市の計画にマッチして設置された。民間の管理にて細やかな配慮がなされていた。</p>
<p>常滑市への反映</p>	<p>(森下)</p> <p>単独で図書館を設置するより複合施設で開設するほうが費用縮減や相乗効果による利用者の増加が期待できる。</p> <p>本市でも商業施設や文化施設などとの複合施設として設置の検討を進めて欲しいと感じる。</p> <p>(齋田)</p> <p>イオンモールの店舗空きの有効活用として、富津市との協議が整ったケースである。図書館設置の一つの選択肢としては理解できたが、イオンモールの存続に左右されることから、本市においては複合施設か単独施設での設置が良い。</p> <p>(坂本)</p> <p>図書館出入口は、防犯対策としてセンサー及び防犯カメラが設置されており、本市も今後、図書館運営に際しては防犯対策が必要である。</p> <p>(稲葉)</p> <p>複合施設内での図書館設置の検討を進めて欲しい。</p> <p>(相羽)</p> <p>本市にもイオンモール常滑があり、空きスペース、賃料が月額 10 万円で賃貸できるなら大変に魅力であると考えます。</p> <p>次年度より、市民の方・各種団体から意見聴取するということである。賃貸にて図書館設置することも聴取すべきであると考えます。</p> <p>(伊藤)</p> <p>今後常滑市の図書館整備は新たな検討に入ると思う。今回の視察を参考に市民や市にとって良い方法を模索していきたい。</p> <p>(加藤)</p> <p>常滑市の図書館整備に関し、常滑市にもイオンモールがあることからこうした取組は一例だと思う。様々な機会の中で一つの考え方として、取り組んでいきたい。</p> <p>(盛田)</p> <p>本市も新設の要望が多くあるが、中央に大きな図書館の建設はどうかと思う。南陵、青海の図書館を充実させて利便性を高めた方がいいのではと思う。</p>

視察②	
視察地	日本財団
視察日時	令和6年2月14日(水)
視察目的	子ども第三の居場所について
説明者	公益事業部子ども支援チーム チームリーダー
調査趣旨	<p><u>全国的に生活困窮世帯、ひとり親世帯、虐待、ネグレクトなどの増加により子どもが健全に育つ環境が失われつつある。</u></p> <p><u>国や地方自治体だけで子どもを取り巻く課題を解決していくには限界があり、子供や家庭を支援する民間団体が果たす役割がますます高まっている。</u></p> <p><u>日本財団は国、地方自治体、民間団体と連携しながら、モデル的な事業への助成、調査研究、人材育成など、子ども達が幸せに育つことができる環境づくりに取り組んでおり、その活動内容を調査研究するために視察した。</u></p> <p>日本財団は平成 29 年より、家庭、学校以外の「子ども第三の居場所」を全国に開設しており、その数は令和5年9月末現在で 181 か所となっている。</p> <p>そこでは各々の置かれている状況により困難に直面している子ども達を対象に、居場所を提供するとともに「生き抜く力」を育むために基本的な生活習慣を身に付けることや発達段階に応じた学習支援、また、保護者支援も行い、子どもの状況の好転が継続するよう包括的な支援を行っている。</p>
写真	
質疑	<p>問:精神的に不安定な子どももいると思うが、定着率はどのくらいか。</p> <p>答:目的を持って生活させるので、自ら来なくなる子どもは少ない。</p> <p>問:支援の期間は。</p> <p>答:3年間で、その後は自治体や民間団体が継続する。</p> <p>問:運営はどのような場所か。</p> <p>答:廃校を利用するケースが多い。物件の新築、改修は補助対象となるが、購入は対象外である。</p>
所感	<p>(森下)</p> <p>家庭、学校以外に居場所の無い子どもにとって、安心して過ごせる場所であるとともに、将来のために学習支援を行っており、今後も必要とされる施設であると感じた。</p>

	<p>(齋田) 子ども支援事業として、しっかりと子供の置かれている現状を把握しており、愛知県内では拠点が5か所しかなく、早々に拠点が増加すると良い事業だと感じました。</p> <p>(坂本) 子どもを100人の学年にすると34.3人(学年のうち、およそ3人に1人)は、経済的、家庭的、学校生活等、何らかの困難を抱えている。困難に直面する子どもを支える居場所が必要である。</p> <p>子ども第三の居場所の拠点は、全国199拠点(常設ケアモデル51拠点、学習・生活支援41拠点、コミュニティモデル107拠点 2024年1月末時点)が開所。開設準備拠点51拠点となっている。</p> <p>(稲葉) 今後、益々必要となる施設であると思う。</p> <p>(相羽) 日本財団では、困難に直面する子供自身が安心して過ごせる場が切れ目なく続くために、官民一体となって、より強力に居場所づくりを推進している。そこから見える子供や家庭の実態と支援の効果、子供の居場所の普及に必要な政策を政府に提言を行っている。</p> <p>政府は、改正児童福祉法において児童育成支援拠点事業として制度化して、2024年4月1日より施行する。</p> <p>児童育成拠点事業として、児童の居場所となる拠点を開設し児童に生活の場を与えるとともに児童や保護者への相談を行う。</p> <p>補助割合、国2/3、市町村1/12、事業者1/4。補助基準額 1,739万2,000円。</p> <p>(伊藤) 日本財団の第三の居場所づくりは、社会に顕在化する諸課題を掘り起こす財団の取組であった。とても参考になった。取組の内容は大いに賛同するもので、とても参考になる研修であった。</p> <p>(加藤) 日本財団の取組で行われている子供たちの居場所づくりを学んできた。全国多くの自治体でこの制度を使い、整備が行われていた。取組の内容は大いに賛同するもので、とても参考になる研修であった。</p> <p>(盛田) 改正児童福祉法において、制度化された、要支援、要保護、特定妊婦の支援の充実が求められており、訪問による生活支援、学校や家以外の子供の居場所支援、親子関係の構築に向けた支援の取組であり、日本財団が全国に設置する施設に援助している。</p> <p>ポート収益の還元であるが、複雑多様化する社会情勢においては、貴重な援助の取組と感じる。</p>
常滑市への反映	<p>(森下) 本市においても需要は高いと感じる。日本財団が事業を実施していることから開所に向けて取り組むべきと思う。</p> <p>(齋田) この拠点の運営については、4年目以降は各自治体が予算を持つこととなっているが常滑市でも必要であり、ポートルースのまち・常滑市として</p>

日本財団に拠点設置を要望したい。

(坂本)

愛知県内では、犬山市・名古屋市2拠点・長久手市・犬山市の5拠点で開所していることから本市においても、補助金制度を活用した、子ども第三の居場所開設に向けた調査検討が必要。

(稲葉)

常滑市でも行うことができる。

(相羽)

日本財団はボートレース関係の財団である。本市もボートレース事業者でもあり、おおいに財団のアドバイス等を求めるべきと考える。

(伊藤)

今後、こうした事業に取り組むにあたり、学びの機会となった。多くの自治体が財団の取組に賛同し、何らかの仕組みを作ってきたことを考えると常滑市でも取組み、提案したい事業であった。

(加藤)

日本財団の制度をうまく活用して常滑市においても、こうした取組を活用しながら、子供たちの居場所づくりについて取組みたいと思う。


(盛田)

愛知県では5市が取り組んでいる。今後考えていくべき事業と感じる。

視察③	
視察地	国土交通省観光庁
視察日時	令和6年2月15日(木)
視察目的	観光産業の高付加価値化について
説明者	官公庁参事官
調査趣旨	<p>常滑市は中部国際空港や国際展示場があるほか、名古屋市に次ぐ県内二位のホテル客室数を有しているが、これらの利用者の多くが常滑市内観光に繋がっていない状況にある。</p> <p>本市は観光客の増加を図ることを目指しており、これらの利用者を市内観光に誘導するためには、観光施設の磨き上げや新たな観光資源の掘り起こしなどで常滑市の魅力を高めていく必要がある。</p> <p>観光庁は観光立国推進基本計画(第4次)を策定し、「持続可能な観光地域づくり」「インバウンド回復」「国内交流拡大」に戦略的に取り組み、全国津々浦々に観光の恩恵を行きわたらせる方針を示しており、その内容について調査研究するために視察した。</p> <p>昨年観光で日本を訪れた外国人数はコロナ禍以前の水準に近い約 2,500 万人となり、観光庁では令和 6 年の訪日外国人数を過去最高の約 3,300 万人と推計している。</p> <p>観光先では地方の観光地を訪れる人が増えており、その要因は観光資源の再生やDXの推進、SNSでの情報発信の力が大きいと思慮される。</p> <p>高付加価値化とは宿泊施設や観光施設の改修、廃屋撤去や面的DX化などを推進するための制度であり、令和 4 年度予算は約 1,600 億円である。</p> <p>この制度を活用した事例では何れも平均宿泊単価が増加している。</p>
写真	
質疑	<p>問: 地域計画作成を主導するのはどこか。</p> <p>答: 自治体やDMO等の地域を代表する団体が多い。</p> <p>問: 補助の期間と補助率は。</p> <p>答: 補助期間は2年、補助率は 1/2。</p> <p>問: 事業採択のために重要な事は何か。</p> <p>答: 地域の合意形成や地域計画のコンセプトづくりが重要であり、地域計画作成の専門家派遣等の支援制度もある。</p>

所感	<p>(森下)</p> <p>観光先の分散化が進み、様々な地域が観光の再生に取り組んでおり、観光庁の施策はこれからの観光地の魅力向上に大きく貢献していくと思う。</p> <p>(齋田)</p> <p>地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化が必要であると感じました。</p> <p>(坂本)</p> <p>人口減少を迎える日本では、観光は成長戦略の柱、地域活性化の切り札である。インバウンドの増加と新型コロナの影響。2019年まで訪日外国人旅行者数と消費額は飛躍的に増加、新型コロナの影響により、2020年以降、大幅に落ちた。コロナによる変化やコロナ前からの課題を踏まえ、観光を持続可能な形で復活させる必要があり、国は地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化の為に宿泊施設、観光施設等の改修、廃屋撤去など支援について、計画的・継続的に支援できるよう制度を拡充している。</p> <p>(稲葉)</p> <p>人口減少の日本で「観光は成長戦略の柱、地域活性化の切り札」は理解できる。</p> <p>(相羽)</p> <p>観光産業の高付加価値化について、官公庁参事官(産業競争力強化)本村龍平氏からご教授いただいた。</p> <p>観光立国推進基本計画(第4次)の主な施策のひとつである。</p> <p>令和4年度当初予算 1,582 億円。</p> <p>宿泊施設の改修、廃屋撤去、面的 DX などに取り組み支援している。</p> <p>地域・産業の稼ぐ力の回復・強化を図っている。</p> <p>令和6年度においては補助金はなく、令和7年度から再度始まるこの補助には、地域計画の作成が必要である。</p> <p>(伊藤)</p> <p>観光庁は消費拡大のため、インバウンド需要の目標値を定め取り組んでいた。予定以上のインバウンドの伸びを聞き、明らかに需要は拡大していることが良く理解できた。また、高付加価値観光施策も各地で取り組まれていた。観光立国としての施策を学ぶことができた。</p> <p>(加藤)</p> <p>コロナウィルスも落ち着きを見せ、インバウンドはじめ観光も戻りつつあることがよく理解できた。人口減少の中、人が減れば地域経済に大きく影響することから、それらを補完するためにもインバウンドの必要性がよく理解できた。また、観光地の高付加価値施策についても年度またぎの地域再生に向けた施策はとても素晴らしい施策であると感じた。</p>
----	--

	<p>(盛田) 観光は地域の成長戦略の柱で地域活性化の切り札である。 観光産業の再生、高付加価値化により経済の発展に結びつく。</p>
<p>常滑市への反映</p>	<p>(森下) 本市においても「とこなめ散歩道」の面的な整備、改修などに期待を持てるが、地域計画の作成など中心となって地域をまとめていく組織が必要である。</p> <p>(齋田) 観光担当部署は観光協会と一体となり、観光庁の持つ支援制度を理解して、支援制度に沿った事業を展開していく必要あり。</p> <p>(坂本) 観光庁は観光立国推進の取組において、観光地・観光産業の再生・高付加価値化などの取組に予算を計上している。本市も観光地・観光産業に力を入れるなら、調査研究し補助金制度を活用した観光地域づくりをする。</p> <p>(稲葉) 常滑市では観光に対する歴史が短い、浅いのではないか。</p> <p>(相羽) 令和7年度の補助申請のために、令和6年度地域計画を作成すべきと考える。作成に対して補助金が出る。</p> <p>(伊藤) 中部国際空港を市域に抱える常滑市ではより一層のインバウンド対応が必要である。関係機関との連携や強化に努めたい。</p> <p>(加藤) 常滑市は令和7年1月より宿泊税の導入を進めている。インバウンドはじめ、常滑市の観光をさらに飛躍させるためには、国の施策を活用しながら、地域が一体となって取り組む必要があると認識を強くした。こうした提案を引き続き取り組んでいきたい。</p> <p>(盛田) 市、地域、宿泊施設、観光協会などが一体となり産業として取り組む必要性をどのように進めるかが今後の課題と感じる。</p>

視察④	
視察地	ボートレース平和島
視察日時	令和6年2月15日(木)
視察目的	ビッグファン平和島の概要について
説明者	京急開発グループ
調査趣旨	<p>常滑競艇場は、売上げが全国 24 競艇場のなかで下位に位置しており、売上げの向上及び新たなファンの獲得が課題となっている。</p> <p>そのため、子どもの遊び場としてモービー常滑の新設などを実施して新たなファンの獲得を目指しているが、更なる対策を進めていく必要がある。</p> <p>ビッグファン平和島は平和島競艇場に隣接しており、各種アミューズメント施設や飲食店等の集合施設である。</p> <p>そこは競艇ファンを始め様々な方が訪れる施設であり、相乗効果及び競艇ファン獲得の有無を調査研究するために視察した。</p> <p>ビッグファン平和島は京急開発(株)が運営している。</p> <p>施設内には映画館、ボウリング場、天然温泉、パチンコ、スーパーや飲食店など様々な業種が入居しており、老若男女問わず一日中楽しめる施設である。</p> <p>アクセスは最寄りの京急平和島駅、JR京浜東北線大森駅から料金100円でシャトルバスを運行しており利便性が高い。</p>
写真	
質疑	<p>問:ビッグファンが競艇ファンの開拓に繋がっているか。</p> <p>答:それぞれの嗜好があり、どの程度競艇ファンが増えたか把握していない。</p> <p>問:競艇側から施設を誘致したのか。</p> <p>答:競艇側からの誘致ではない。競艇場を含めて京急開発(株)の土地であり、複合的なアミューズメント施設として整備した。</p>

<p>所感</p>	<p>(森下)</p> <p>複合型アミューズメント施設は子どもから高齢者まで様々な人が訪れる施設であり、施設が近接していることで、今まで競艇に興味が無かった人にも身近に感じることができると思う。</p> <p>(齋田)</p> <p>競艇事業だけにとらわれることなく、空きスペースを利用して運動施設に貸しており、天然温泉、ボウリング場も経営しているのので、休みの日にはレース場周辺はすごく人が集まると感じた。</p> <p>(坂本)</p> <p>ボートレース平和島と隣接した場所にボートレース平和島劇場、京浜急行電鉄グループの京急開発が開発、同社が所有する遊技場、天然温泉平和島、飲食店などが入る複合商業ビルなどがあり、ボートレース平和島はこれらと併せてビックファン平和島の一部を構成している。施設利用者は年齢、性別に関係なく多くの市民が利用している。</p> <p>(稲葉)</p> <p>競艇場に近接して誘客できる施設があることは、新たなファン拡大に繋がると思う。</p> <p>(相羽)</p> <p>競艇場の施設は京急開発が管理しており、直近に商業ビルを京急開発が建築して一体の集客を図っている。</p> <p>商業ビルには、トンデミ(幼児から大人まで体を動かして遊べる施設)・飲食店・シネマ・ボウリング・パチンコ・ゲームセンター・天然温泉等が入居しており1日遊べる施設である。</p> <p>トンデミは有料施設で、条件は身長 110 センチメートル以上、体重は 20 キログラム～120 キログラム、利用料は2時間で平日 3,100 円、土日祝 3,200 円、ハイシーズン 3,300 円である。</p> <p>京急開発は、京急電鉄のグループ企業で最寄りに平和島駅があり、駅周辺の集客施設として開発していると考える。</p> <p>(伊藤)</p> <p>売り上げ向上策を学ぶため、ボートレース平和島敷地内で様々な事業展開を行っているボートレース平和島を訪れた。近隣から多くの人々が来場され、体験型の施設などとても参考となった。</p> <p>(加藤)</p> <p>ボートレースへの誘客を学ぶために、隣接地にアミューズメント施設を有するボートレース平和島を訪れた。子供たちや家族が楽しめる施設であり、ボートレースだけでなく、ゲームセンター、カラオケ、パチンコ、ボウリング、温浴施設など、皆さんが楽しめる空間が作り出されていた。ボートレースへの誘客については統計がなく効果はわからないとのことだったがボー</p>
-----------	--

	<p>トレースをコア施設に敷地内に配置されたアミューズメントの考え方は参考になった。</p> <p>(盛田)</p> <p>平和島ボートレース場に隣接した、子供から老人までが楽しめる映画館、スポーツジム、ゲーム、風呂などを備えた施設であり、他のボートレース場には無く、ボートファンの誘客にも効果があると感じる。</p>
<p>常滑市への反映</p>	<p>(森下)</p> <p>近くに誘客できる施設があれば来場者も自然に増えると思われる。りんくう町に空き地があるので、企業庁と連携してアミューズメント施設の誘致を進めて欲しい。</p> <p>(齋田)</p> <p>ボートレース常滑においては、近隣にイオンモールやコストコもあり、常滑市として新たに建物を建てる必要はない。レース開催日には、短い距離であるが商業施設と行き来するシャトル便があっても良いのではと思う。</p> <p>(坂本)</p> <p>本市もボートレース常滑の収益で誰でも楽しく遊べ、健康目的の施設(有料)運営が求められる。</p> <p>(稲葉)</p> <p>素晴らしいと感じたが常滑には参考にはならないのでないか。</p> <p>(相羽)</p> <p>東京都という周辺人口が多い土地柄、商業ビルには、たくさんのお客さんがいた。本市の6万都市では難しいと考える。</p> <p>京急電鉄は羽田空港まで乗り入れを行っているが、さらに駅周辺の開発にも力を入れている。名鉄も空港乗り入れを行ってドル箱路線であるが、駅周辺の開発にも力を入れていただきたい。</p> <p>天然温泉では、羽田空港深夜・早朝無料送迎バスを運行していた。空港利用者にとっては大変に便利ではないかと考える。</p> <p>(伊藤)</p> <p>今回の視察では多機能的レジャー施設の在り方について新しい視点を持つことができた。ボートレースとこなめでもこうした多くのファン層に受け入れられる施設となるよう取り組んでいきたい。</p> <p>(加藤)</p> <p>ボートレースとこなめにおいても、グリーンやモービーなど配置され、ボートレース客にとどまらず、家族や子供たちが楽しめるようレジャー化している。それらに加え、室内でのアミューズメントなどが西駐車場等があれば、さらに充実が図られると思う。取り組んでいきたい。</p> <p>(盛田)</p> <p>近くに欲しい施設であるが常滑では無理かなと思う。</p>

	単価	人数	合計	備考
交通費(名鉄)	310	8	2,480	常滑駅から中部国際空港駅
交通費(往復航空券 + 宿泊セット)	32,000	8	256,000	中部国際空港から羽田空港・・・①
交通費(高速バス)	1,250	8	10,000	羽田空港から木更津駅東口・・・③
交通費(JR)	240	8	1,920	木更津駅から青堀駅
交通費(バス)	190	8	1,520	青堀駅からイオンモール富津
交通費(バス)	1,600	8	12,800	君津駅南口からバスターミナル東京八重洲 ・・・④
交通費(地下鉄)	180	8	1,440	東京駅から銀座駅
交通費(地下鉄)				銀座駅から虎ノ門ヒルズ駅
交通費(地下鉄)	180	8	1,440	虎ノ門ヒルズ駅から築地駅
交通費(地下鉄)	180	8	1,440	築地駅から霞が関駅
交通費(地下鉄)	520	8	4,160	霞が関駅から東銀座駅
交通費(地下鉄)				東銀座駅から泉岳寺駅
交通費(地下鉄)				泉岳寺駅から平和島駅
交通費(地下鉄)	280	8	2,240	平和島駅から東急蒲田駅
交通費(バス)				東急蒲田駅から羽田空港駅
交通費(名鉄)	310	8	2,480	中部国際空港駅から常滑駅
手土産代	3,000	4	12,000	4カ所 1個あたり3,000円・・・②
合計		8	309,920	